

## 新しい世界によろこそ！

学科長 Mauro Neves

新入生の皆さん、ポルトガル語学科によろこそ！在学生の皆さん、新たな気持ちで新学期を迎えたことと期待しています。

今年は、1822年9月7日にブラジルが独立国家として誕生してから200周年に当たります。そしてブラジルおよびブラジル人の新しいアイデンティティを考えるために1922年2月11日から18日の間、サンパウロで開催された近代芸術週間の100周年にも当たります。さらにブラジルの大統領選挙の年にも当たります。ブラジルから目が離せない年になること間違いなしの2022年に皆さんがポルトガル語学科に所属していることは、きっと皆さんの一生に残ると思います。

世界が2020年から新型コロナウイルス感染症と闘っている中、実際のボーダーは閉鎖あるいは厳しくコントロールされ、それぞれのボーダーを超えることが難しくなってきました。しかし「仮想」のボーダー（国境だけではなく、様々な意味で）はインターネットによってなくなりつつあり、一つの国に一つの言語と一つの文化という時代はなくなりました。そして世界にヒットを飛ばしているBTSが述べたように、皆さんのジェネレーションは「ロストジェネレーション」ではなく、コロナに打ち勝って前に進んでいくため、その経験を活かす「ウェルカムジェネレーション」であることを私は願っています。

そのような時代に一つの言語を学ぶということは、ただ単に言葉を学ぶだけでなく、異文化のルーツを持つ人間同士の心をつなげるための橋を架けるといえることです。本学科で勉強するという事は、そのための力を身につけることに違いないと私たち教員全員が確信しています。特に1年目の基礎が重要です。諦めたい気持ちになる時もあるでしょうが、新しいことを学ぶ楽しさと考えて勉強をしてください。

2年次生は、語学カリキュラムの中で最も内容が複雑で予習・復習が必要な年を迎えます。様々な授業を通して学んだ基礎を向上させることを目指してください。そしてどのような研究コースを選出するかについてももしっかり考えてください。

3年次生は、学習してきたことを応用する年を迎えます。「総合ポルトガル語」という6科目を選択し、ポルトガル語で様々な資料を読み解き、コミュニケーション力を向上させることを目指してください。そのために積極的に授業に参加することが不可欠になります。また、自分が選んだ研究コース科目の履修が進み演習も始まります。自分が興味をもつ分野を楽しく勉強しましょう。

4年次生は、就職活動を頑張ることになるでしょう。しかし「総合ポルトガル語」の2科目の登録がまだありますから、最後にポルトガル語をさらに磨きながら過ごしてください。なお内定が決まり次第、学部・学科へも報告してください。

この1年間を無駄にするかしないかは、自分次第だということを忘れないように！私たち教員全員でサポートしますが、それを生かすかどうかを決めるのはあなたたち自身です。

新入生の皆さん。ポルトガル語は勉強し始めたら理解できるようになる言葉です。

皆さんがこの学科に入ったことは皆さんの destino でもあり、皆さんの fado を変えるチャンスでもあります。その fado / destino を嬉しく受け入れ、あなたたちのためになることを期待しています。